

## 4. ビジョンの実現に必要な多様な主体との連携・協働

### (1) 東アジア・北東アジア地域の動向を見据えて

東アジア及び北東アジアとの交流推進のため、国際会議等での関係者との積極的な交流や、経済や物流等の調査を随時実施し、その動向を把握していきます。また必要に応じて、関係諸国の港湾・空港との連携や協力を図り、この地域の更なる発展に貢献します。あわせて、広く市民にもこれら地域との国際交流の重要性について理解・浸透を図ります。また日本海の環境保全のため対岸地域も含めて幅広い主体と連携します。

### (2) 広域的な港湾間の連携

北陸地方全体として広域的な港湾間の連携を図り、背後圏荷主に対する認知度の向上、航路の開設、対岸諸国との交流等を推進し、北陸地域の経済活動の振興や競争力向上を支援します。そのために自治体、国の関係機関並びに民間との情報交換・交流やポートセールスに必要な管内港湾利用による効果データの調査を行います。また、利用者のニーズに迅速に対応できるよう港湾の計画策定・整備を迅速に進めます。また、港湾の効率化を図るため、広域的な港湾の管理・運営について検討していきます。

### (3) 既存の社会資本の有効活用、地域特性に応じた社会資本の整備

既存の社会資本の有効活用を図るとともに、地域特性に応じた柔軟な構造・手法を導入し、地域の要請に応じた港湾・空港の整備を推進します。

### (4) 地域住民、NPO 等との連携・協働

港湾・空港の計画の策定や整備にあたっては、構想段階から情報を公開し、住民、企業等の多様な意見や提案を十分に把握し、意思形成を図るとともに、説明責任を果たしていきます。また NPO 等地域で活動している多様な主体との連携・協働を図ることで、地域社会・利用者などとの良好な関係を構築し、魅力ある地域づくりを進めます。

## パブリックコメント 主要意見のご紹介

### 北東アジアに関するご意見

- ・中国国内の交通事情を考慮し、中国貿易の中継港としてロシアのザルビノ港の利用を考慮すべきである。
- ・観光資源が豊富な北東アジア諸国とを結ぶ安価で安全な観光ルートの開発による人的交流の拡大が重要である。
- ・新潟は東京や仙台へのパイプラインを持っているので、サハリンの石油・天然ガスの日本側の受け入れ拠点として発展して欲しい。
- ・現在日本海を通過する北米航路が多数存在し、また現在新潟から北米向けの貨物も増加しているので、これら日本海通過航路の新潟寄港も真剣に努力すべきである。
- ・今後の北陸地方の発展のためには、国際フェリーなど貨客船によるアジアとの国際交流を始めたり、港湾や空港周辺環境づくりに国際的な感覚を取り入れるなどしてはどうか。

### 港湾施設に関するご意見

- ・計画策定は企業の動きとタイムラグがあり、港湾整備のチャンスを逃しているのではないかと。
- ・コンテナヤード、荷役機械、倉庫が不足しているので早急な支援を願いたい。

### 危機管理に関するご意見

- ・新潟中越地震で断絶した陸上交通機関の代替ルートとして空港や港湾が活用されたことを踏まえた代替ルートの重要性に関する記述を入れた方がよい。
- ・交通機関の断絶による混乱を回避するため、二重三重の輸送手段の維持が重要。また、災害時の貨物輸送の増加にも対応できるよう、通常時に加えて適度な余裕を持った施設整備が重要。
- ・世界的にテロ行為が懸念される今日、さらに積極的なテロ防止対策を推進してほしい。

### その他

- ・日本海側のゲートウェイは1つの港だけでは機能せず、各港が連携しながら成立すると考える。よって「地域が連携して対応できる体制を」の表現がよいのではないかと。
- ・新潟特産の新高梨が香港など海外で贈答用として珍重されるというニュースをみたが、トラックで横浜に向かうということで少し残念。新潟で直接出入荷できるようになると、もっと鮮度のいい物が行き来して食卓が賑わうことを期待する。

< お問い合わせ先 >

国土交通省 北陸地方整備局  
港湾空港部 港湾計画課

〒951-8545 新潟市白山浦 1-332

TEL: 025-265-7781

H P : <http://www.pa.hrr.mlit.go.jp>